

輸送経済

THE YUSO-KEIZAI

第2828号 昭和24年4月23日 (第三種郵便物認可)

1/6

平成21年
(2009)
(火曜日)
週刊

相模原に3PL拠点

丸全昭 和運輸 主にキヤタピラーJ用

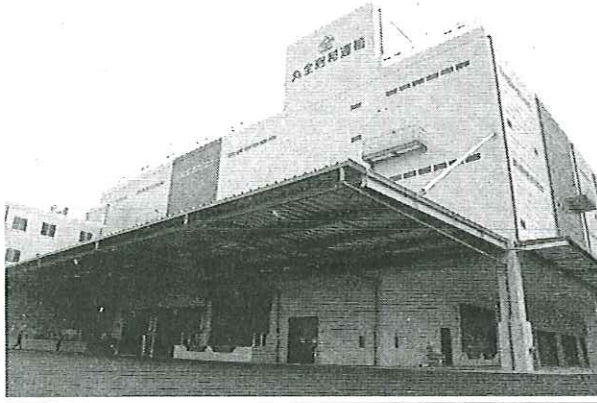
丸全昭和運輸(本社・横浜市、野口正剛社長)は十二月二十二日、「京浜支店 相模原物流センター」をしゅん工した。同社一番目の大型物流センター。重機メーカーの3PL(ガードパーティ
ー・ロジスティクス)を展開。重量品に適した設備を備え、物流業務の効率化に貢献する。

(竹内 聡)

主に大手重機メーカー(社長)の3PLを展開。
一、キヤタピラーシャバ 部品調達から出荷までの
ン(本社・東京、平野昭 物流業務全般を担う。年

末に移転作業を行い、一八・三トン、二、三階が
月五日に稼働開始した。
所在地は神奈川県相模
原市清新八ノ二〇ノ四

三。キヤタピラーシャバ
の工場に近く、国道一
六号線と二二九号線に隣
接した立地。京浜支店所
管の拠点および営業所約
十三カ所を集約した。
敷地面積は約一万八百
平方メートル。延べ床面
積は約一万四千九百平方
メートル。一昨年九月に
しゅん工した愛知県の大
海倉庫に次ぐ、二番目の
大型物流センターだ。



建物は一階が一坪あたり
荷重は一階が一坪あたり

建物は三階建ての鉄骨
造。重量物の保管に適し
た設計となっている。床

重機は一階が一坪あたり

五トンエレベーターを
三基、一・五トンの垂直
搬送機を一基備える。一
階には重量部品のクレ
ーン五基(二・八トン一
基、〇・五トン四基)の
ほか、海上コンテナ輸送
用にドックレベラー四基
を設置した。

情報システム面からの
サポートも充実。丸全昭
和運輸の3PL情報シス
テム「Maruzen
Logistics
Partner(MLP)

システム」を倉庫内L/A
Nと連動させた。
しゅん工披露宴で野口
社長は「基盤事業として
アセット型の3PLに力
を注いでいる。施設、機
器、人材を所有すること
なく、ニーズに応じて
いきたい」と述べた。

改善はできないと考えて
いる。相模原物流センタ
ーも、その考え方に沿っ
て役割を担う。いかなる
状況であろうと、3PL
の分野への投資は怠るこ
となく、ニーズに応じて
いきたい」と述べた。